

法 規 (1)

〔1〕 免許人が無線設備の変更の工事をしようとするときは、総務省令で定める場合を除き、どのようにしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 変更の工事に係る図面を添えて届け出る。
2. あらかじめ申請してその許可を受ける。
3. 口頭でその旨を連絡する。
4. その要旨を届け出る。

〔2〕 次の文は、電波法施行規則の規定であるが、
□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。
「無線従事者は、その業務に従事しているときは、免許証を □ していなければならない。」

1. 携帯
2. 通信室に掲示
3. 無線局に保管
4. その無線局の免許人に預託

〔3〕 無線従事者が電波法又はこれに基づく処分に違反したとき、総務大臣から受けることがある処分は、次のどれか。

1. 無線局の免許の取消し
2. 1年間の無線局の運用停止
3. 無線従事者の免許の取消し
4. 6か月間の業務の従事停止

〔4〕 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認められるとき、その無線局についてとられることがある措置は、次のどれか。

1. 免許を取り消される。
2. 空中線の撤去を命ぜられる。
3. 臨時に電波の発射の停止を命ぜられる。
4. 周波数又は空中線電力の指定を変更される。

〔5〕 固定局の無線業務日誌に記載する時刻は、次のどれによらなければならないか。

1. 中央標準時又は協定世界時
2. 協定世界時
3. 協定世界時。ただし、これによることが不便である場合は、中央標準時
4. 中央標準時

〔6〕 次の文は、時計、業務書類等の備付けに関する電波法の規定であるが、□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局には、正確な時計及び□、無線業務日誌その他総務省令で定める書類を備え付けておかなければならない。」

1. 無線従事者免許証
2. 無線検査簿
3. 無線局免許申請書
4. 免許状

法 規 (2)

〔7〕 空中線電力 50 ワットの固定局の無線設備を使用して呼出しを行う場合において、確実に連絡の設定ができると認められるときの呼出しは、次のどれによることができるか。

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 相手局の呼出符号 | 3 回以下 |
| 2. 自局の呼出符号 | 3 回以下 |
| 3. (1) 相手局の呼出符号 | 3 回以下 |
| (2) DE | 1 回 |
| 4. (1) DE | 1 回 |
| (2) 自局の呼出符号 | 3 回以下 |

〔8〕 無線電信通信において、相手局に対し通報の反復を求めようとするときは、次のどれによることになっているか。

1. 反復する箇所を繰り返し送信する。
2. 反復する箇所の次に「RPT」を送信する。
3. 「RPT」を送信する。
4. 「RPT」の次に反復する箇所を示す。

〔9〕 非常の場合の無線通信において、無線電信により連絡を設定するための呼出しは、次のどれによって行うことになっているか。

1. 呼出事項の次に「OSO」3回を送信する。
2. 呼出事項の次に「OSO」2回を送信する。
3. 呼出事項に「OSO」3回を前置する。
4. 呼出事項に「OSO」1回を前置する。

〔10〕 無線電信通信において、「ラタ」を使用する場合は、次のどれか。

1. 通報がないことを通知しようとするとき。
2. 周波数の変更を完了したとき。
3. 通報の送信が終わるとき。
4. 通信が終了したとき。

〔11〕 無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているのは、次のどれか。

1. 無線通信は有線通信を利用することができないときに限り行うものとする。
2. 無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、直ちに訂正しなければならない。
3. 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。
4. 無線通信は長時間継続して行ってはならない。

〔12〕 無線局は、自局の呼出しが他の既に行われている通信に混信を与える旨の通知を受けたときは、次のどれによらなければならないか。

1. 中止の要求があるまで呼出しを反復する。
2. 直ちにその呼出しを中止する。
3. 空中線電力をなるべく小さくして注意しながら呼出しを行う。
4. 混信の度合いが強いときに限り、直ちにその呼出しを中止する。